

●小見野地区 まちづくり懇談会記録

平成25年8月1日(木)午後7時～8時30分 (小見野公民館)

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	ハトのフン害について検討しているか。	鳥害は、町内の施設でも問題となっております。難しい問題ではありますが、有効な対策がないか検討していきたいと考えております。	設計者 事務局
②	旧庁舎の解体費用は、どうなっているのかお聞きしたい。また、現在設置してあるATMも移動するのか。	解体費用は、新庁舎建設費用の21億8千3百万円の中に含まれております。ATMにつきましては、現在設置している埼玉りそな銀行と埼玉縣信用金庫からは、了承をいただいております。JA埼玉中央などの他の金融機関についても交渉中であります。庁舎の敷地内に設置できるように調整しております。	事務局
③	コミュニティセンターが隣にあり、その会議室の利用できるかどうか踏まえて、新庁舎検討委員会で新庁舎の会議室の数などを決めたのか。	新庁舎検討委員会で関連施設の共用できる部分については共用しようという視点から、検討いたしました。コミュニティセンターは、一般に開放しておりますので、利用率はかなり高く60%以上となっておりますので、役場の会議室として利用するのは困るとの意見もございました。また、町民会館につきましても会議室が少ないため、役場の主催する会議でなかなか使用できない状況でございます。これらを踏まえ、委員会で会議室の利用を検討していただき、全体面積については4,800㎡が望ましいとの意見をいただきました。	事務局
④	デザインも重要と思うが、長期的に見て維持管理費がかからない施設にして欲しい。また、他の自治体が視察に訪れるような庁舎を建設して欲しい。他市町を研究し、町民が利用しやすいような課の配置を考えてほしい。	意見のため回答なし	
⑤	新庁舎建設の着手や完成などのスケジュールは、どうなっているか。また、工事費用は、どれくらいかかるか。	平成26年度に着手し躯体工事に1年弱ほど予定しており、平成27年度秋に完成予定であります。	事務局
⑥	公共施設内に設置している飲み物の自動販売機について、占用料のほか売上料金の一部を謝金として受け取っているのか。行っていないのであれば、導入の検討をして欲しい。	複数の業者の自動販売機を設置しており、使用料、電気代及び売上の8%の謝金を原則いただいております。ただし、役場に現在設置しております自動販売機は、ニュースや防災などのテロップを流していただいていることや料金を安くいただいているため、使用料と電気代のみいただいております。	事務局
⑦	防災機能を持たせた庁舎であるとの説明があったが、何人くらい避難できる予定なのか。新庁舎のどこに避難するか。	約2000人が避難できると想定しております。また、備蓄や発電も3日間72時間対応できるように考えております。なお、備蓄については、防災倉庫にも整備しており、水害に備えてボートなども準備しております。避難する場所は、2階のフロアや会議室を想定しております。ハザードマップで200年に1度想定する2m50cmに浸水したとすると、1階の基礎部分まで浸水すると想定されます。ただし、200年に一度の確率なので、1階の部分までの浸水は止むを得ないと考えております。	事務局

⑧	防災の関係で、『シェイクアウト』についての回覧が回ってきたが、カタカナの言葉で、説明もなく意味がよくわからなかったので、日本語で標記するなど、書き方を工夫して欲しい。	『シェイクアウト』とは、自助訓練のことです。今後、わかりやすい文章になるよう注意したいと思います。『シェイクアウト』についての説明は、広報に載っておりますので参考にさせていただければと思います。	事務局
⑨	土台を2m盛土することにより、浸水対策が大丈夫という根拠をもう一度説明して欲しい。	国土交通省から示された200年に1度の確率の雨量、3日間の総雨量548mmの場合、町民体育館付近で2m50cmとなっております。 明治43年に川島町のすべての堤防が破堤した東京大洪水の後に、水塚が多く作られておりますが、この水塚の高さが、おおむね1m80cm～2mとなっております。この水塚のように平均2m以上の高さがあれば大丈夫ではないかと考えております。	事務局
⑩	3階部分を展望室にするとの説明があったが、災害時に確認するのであれば、もっと高さが必要ではないか。	展望室は、4階程度の高さに地盤の高さを合わせた高さとなります。構造やコストとのバランスで検討しています。	設計者
⑪	太陽光の設備規模はどの程度か。	20kw～30kwで比較検討しております。小見野小学校が、小学校の中で一番早く設置しましたが10kwでございますので、その倍程度とお考えいただければと思います。	事務局
⑫	水害を考えると、駐車場や駐輪場は被害を受けない程度の高さに作らないと、公用車が水に沈んでしまい機能しなくなってしまうのではないか。	立体駐車場の設置などの意見がありましたが、コストがかかりますので見送りました。公用車については水がかからない高い所へ移動させるなどの対応を考えております。	事務局
⑬	前面道路も拡張工事しているが、制限速度も30kmであり、対応しきれないところも残っている。新庁舎はアクセスが悪く、集中豪雨の時に避難できないのではないか。	道路については再来年までに、拡張工事が終了する予定です。道路の制限速度については、公安委員会に話していきたいと考えています。 また、周辺の浸水についてですが、安藤川の整備が進んでおりますので、以前ほどの被害はないと思われます。	町長